

# 本能まちづくりニュース

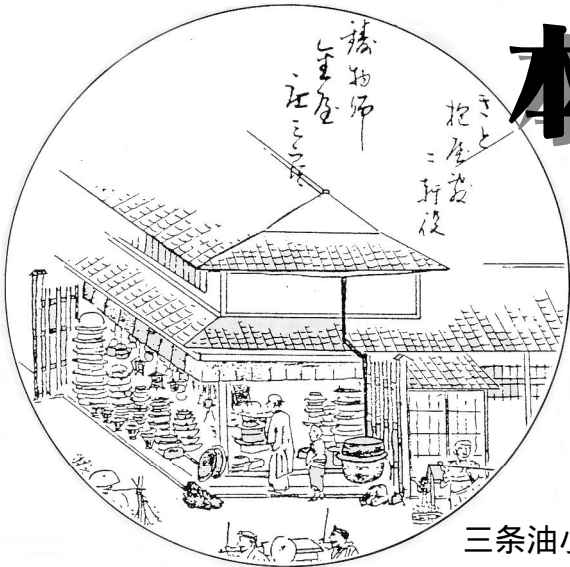
第40号 平成19年9月10日発行

本能まちづくり委員会  
委員長 西嶋直和

E-mail: post@honnoh.net

URL http://www.honnoh.net

本能まちづくりニュースのカラー版は、ホームページでご覧ください。



三条油小路町絵図より鋳物師釜屋庄三郎方

## のれんで迎えた還幸祭

7月24日夕刻、祇園祭の還幸祭で、三条通では家々に本能のれんの華を咲かせ、御輿三基をお迎えしました。

色とりどりの古代色のれん34枚を、立命館・府立大学の学生さんのお手伝いを得て、三条通に面したおうちの玄関一堀川通から西洞院までの橋東詰町・塩屋町、さらに東の新町までの釜座町一に飾りました。



玄関の造りでのれんを掛ける用意がされているお宅は普段のお店のものを本能のれんに掛け替えてもらったり、軒先に針金でくくりつけたり、アルミサッシや壁には両面テープ付き金具を貼り付けたり工夫しながら、29軒のおうちにご協力いただきました。5時ごろから掛け始め、西日のさす間は三条通に色を添え、風に吹かれて揺れるのれんが通り行く人に語りかけるようで、携帯で写真を撮ったり、「これは何と読む?」と首をかしげたり、話し合ったりする人々がおられました。

日が沈み、夕闇があたりを包む頃、「三条通を考えよう会」のスタッフが「もてなし往来三条通」しつらえの行灯を道路わきに配置され、のれんをほのかな光が照らして両者一体となり、ハレの祭り情緒が高まりました。

9時前ごろから、賑やかに三基のお御輿が通られ、トップの西御座(三若)は威勢良く通過、2番の中御座(四若)と3番目



の東御座(錦)は、三条油小路角で小休止と差し上げ。「御輿を見る会」のもてなしを受けて、八坂さんへ帰られました。御輿の担ぎ手も多く、やはり迫力のある後祭でした。

ところで、三条通を飾った古代色のれんは、この後東京に出張しました。「グッドデザイン賞」のコミュニケーション部門に「日本の伝統色のれんスタンプラリー～染めのまちに咲くのれんの華～」として今回応募したためです。1次審査は通過し、2次審査のため東京国際展示場(ビッグサイト)にて実物・パネル展示が行われました。

8月24日から26日には一般公開もされ来場者は3万8千人を超えました。

「グッドデザイン賞」は、1957年に通商産業省によって創設された「グッドデザイン商品選定制」を継承する日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度です。家電製品や日用品・文房具など受賞された商品に「Gマーク」のシールが貼られているのを見られた方も多いことと思います。「のれんの華」はイベントとしてデザイン賞を狙っています。

展示会場には約2500点もの商品がずらり。大企業の出展に取り囲まれた「のれんの華」のブースは手づくり感たっぷり。数ある展示のなかで足を止めて見入っている人が多く、写真もたくさん撮られていました。スタンプラリーに参加してみたいという声が多数聞こえてきました。なお審査結果は9月中旬に発表されます。



ビッグサイト展示会場風景



## 信長時代の本能寺の瓦出土

7月20日～8月6日まで行われていた池須町七越ビル跡地の埋蔵文化財調査で、信長が焼き討ちに遭った当時の本能寺と考えられる遺構が発掘されました。

今回、埋蔵文化財調査が行われたのは、京都市内中心部がほぼ平安京跡であり、4年前の本能校跡地埋文調査結果より、蛸薬師・西洞院・六角・油小路通に囲まれるあたりが本能寺跡と確実視されて、埋蔵文化財包蔵地に指定されており、建設届出段階で、発掘調査指導が下されたためです。

敷地が学校跡地のように広くはなく、掘り起こしては埋めて、土置場のスペースを作らねばならず、現場が危険であり、調査長期化による工期遅延も避けたいため、この調査は8月7日の京都新聞1面トップ報道まで、公表されませんでした。しかし関心ある地元民の見学は許されて、本能まちづくり委員会委員は、調査を担当されている関西文化財調査会吉川義彦先生のもとに取材に通わせていただきました。

まず、以前ビルが建っていた所と通路部分の、埋め込まれたビル基礎のコンクリートの狭間、5m四方4箇所からは、2mくらい掘ると、東側から順に、西洞院川の水路だったと考えられる砂利の川底面。基礎石が置かれたらしい跡。円い井戸跡多数。そして、西の奥の箇所から、7月23日に瓦の破片の堆積層と、粘土質の排水路跡が発見されました。黒い瓦は焼けると土の鉄分が酸化して赤く変色。黒い瓦と焼けて赤くなった瓦が一緒に出てきました。時代によって瓦の厚さが異なり、厚みを計測して近世のものか、信長時代のものか判断されます。瓦は焼け跡の整地に使われ、堀を埋めたと考えられるそうです。この時点で、絵図には描かれていない本能寺境内の内堀の存在が浮上しました。

今から50年も以前はビルを建てる時、人の手で基礎を掘っていたそうですから、必要などころしか掘りませんでした。もしその当時に埋文調査をしていたら何か出土していたかも知れませんが、掘られなかった所が残存していて、今回の調査で発掘されたのです。

敷地は西洞院通りに面し、奥で北側に延びる鍵型になっています。そこの部分は、はじめ江戸時代の屋敷のゴミ捨て場のようで、貝殻や陶器の破片が出ましたが、さらに掘ると、便所の跡のよう



江戸時代の便所の跡

な石組みが出土。一部埋め戻しつつ、さらに範囲と深さを拡大すると、本能寺敷地内に掘られた堀の跡のような土の堆積層が現れ、8月2日、そこから「能」のつくり部分ヒ

二つが「去」になった字（ヒ＝火を避ける意味で去る）のついた瓦や焼けて赤くなった瓦が出土し、この地が信長が焼き討ちにあった本能寺であることが確実にになりました。8月3日には、輪宝を額につけた鬼の顔の鬼瓦、龍と思われるような姿がついた鬼瓦の一部が出土。そして堀底のヘドロを除去すると、8月4日、幅2m高さ1mくらいの3段組の石垣と、深さ2m幅6mくらいの堀の遺構が出現しました。他に、土師器(はじき:素焼きの土器で使い捨て食器)のかけらや字が書かれた卒塔婆、動物の骨、瓜類の種や豆類が出てきました。ヘドロの中ではほぼ真空状態におかれていたため現代まで残ったそうです。「これは何だろう?」と、黒い塊の土を洗い流すと、まさしく「能」の異体字が現れた時にはどよめきが起こりました。たまたま居合わせて、発掘の醍醐味を味あわせてもらいました。

遺跡の測量に基づく作図、各地層から出土した破砕物の年代比定・復元など細かな調査はこれからですが、信長時代の本能寺の跡地であるのは確実で、本能寺関連の遺物が出土したのは今回が初めてだそうです。

来たる9月28日、調査をされた関西文化財調査会の吉川義彦先生をお招きし、「本能ものしり講座」にて、お話をうかがう予定です。皆様お越し下さい。(N村)



井戸の跡



三段組の石垣出現!!

### お知らせ

第4回 本能ものしり講座 開講  
9月28日(金)PM7:30より  
本能自治会館2階会議室

「平成ロマン 今明かされる本能寺」

講師：関西文化財調査会代表  
吉川義彦先生



## 京の火除けの神さん [山田町の村田茂雄様からお寄せいただきました。ありがとうございます。]

7月4日、愛宕神社の御札の斡旋が、町内回覧版にてありました。そこで「火過要慎」をとりあげたいとおもいます。

毎年7月31日は千日詣り。京都に火事が少ないのは愛宕さんのおかげです。

京都ならどこのご家庭の台所でも見かけます。ほんまに京都人の火事に対する意識の高さのあらわれですけど、そうは言わへんところが京都人です。また念には念を入れて火の始末をする京都人のしつこさで、京都のまちを火から守ってきたのです。

愛宕神社[右京区嵯峨愛宕町1]は、火除けの神。全国に800以上ある愛宕神社の総本山。愛宕大権現として有名です。本来の姿は勝軍地蔵とされ、軍に勝つ地蔵という意味から、その石仏はヨロイとカブトを着け、錫杖等を持つ姿をしています。本能寺の変の前に、明智光秀が愛宕権現の一坊「威徳院」を、5月27日に参籠しています。このことでも勝軍地蔵であることがうなづけます。

日本で最初に祀られた火難除けの神として、三宝大荒神さんがあります。摂津勝尾山の地から、明德元年(室町時代 1390年。ご参考に応仁の乱は1467年に始まる)に洛陽、醒ヶ井高辻の地に遷座され、清荒神(きよしこうじん)と称せられました。現在、天台宗提境山観音寺として祀られています。

明德3年、御所守護のため、東南の地に遷座。清荒神(きよしこうじん)正式名天台宗護浄院(ごじょういん)[上京区河原町通荒神口西入る荒神町]として、国家安泰・五穀豊穰・火難即滅・日常生活の平穏を祈願。一般のご家庭での火の守護神として最浄所の意味で炊事場の上に崇め祀っております。境内には京都七福神のひとつがあります。

余談：観音寺さん、戦時中、軍の命令により格致小学校講堂の地から、旧JR二条駅で駅舎の移動があったように、観音寺さんも現在地に移された、と、住職よりお話がありました。町名も荒神町で、自治会としては仏光寺通の喜吉町と一緒に、喜吉荒神町として活動されています。

取材に際しては 林龍昇堂さま快く台所撮らせてくださり、観音寺住職・護浄院の奥様も快く説明くださり、感謝申し上げます。

最後に本能消防分団さんの日頃からの熱心な活動に敬意を表したいと思います。

平成19年7月7日

山田町 村田 茂雄

村田さんの原稿・写真は本能まちづくり委員会ホームページに掲載しています。ご覧下さい。本能まちづくりニュース・本能まちづくり委員会ホームページへの皆様のご投稿をお待ちしています。

「千日詣」とは、7月31日夜から8月1日未明にかけて愛宕神社に参ると、千日分の火伏と防火のご利益があるとされるものです。また、3歳までにお参りすれば一生火事に逢わないともいわれ、参拝者には子ども連れも多いそうです。

愛宕神社の社務所にお尋ねすると、古くから神仏習合の修行霊場で、火伏・防火に霊験あり。明治初年の神仏分離令で白雲寺廃絶・愛宕神社となり現在にいたる。その際史料は散逸したが、「千日詣」には、江戸時代から一般の方が参っているといわれている、とのことでした。

本能学区では、戦後消防分団設立以来、団員の方々は無火災祈願をかけて毎年お参りされています。今年も平野雅左夫団長ら6名は清滝口を出発。団員の体力に応じて、1時間半から3時間かけて愛宕山を登り、山頂の愛宕神社で無火災のご祈祷。御祓いをうけ、学区民の大80枚・小780枚ほどのお札を受けてこられました。雨に遭って濡れないように、お札をビニールに包んで背中のリュックに。和紙でできているので相当重いそうです。そして下山。団長は「無火災を願って、命ある限り登る」とおっしゃっています。

町内で斡旋される「阿多古祀符火過要慎」のお札はこうしてもたらされ、8月1日に皆様のお手元に配られます。(N村)



林龍昇堂様お台所

観音寺



護浄院



本能自治会館の台所にもお札が



本年の本能消防分団愛宕登山隊

## 学区情報

# 猛暑中の本能夏まつり

本年も「本能夏まつり」が8月18日(土)午後4時～9時まで、本能グラウンドにて開催されました。連日、体温を越す猛暑。夏まつり当日も夜まで暑い日となりました。



午後4時に平野雅左夫自治連合会会長による挨拶で幕を開けました。ステージでは子供たちによる少林寺拳法の演舞、カントリーバンド“ドリフティングホーボーズ”の演奏、よさこいソーランの華麗な踊り、「あっ、あの人が歌ってはるわー」カラオケ、と次々に華やかで楽しいパフォーマンスが繰り広げられました。



輪投げ

『楽しいゲームコーナー』ではビンつり・ダーツ・型抜きなど6つのゲームがあり、チケットとゲットした景品を持った子供たちが大賑わいでした。ビンつりは結構上手にビンを釣り上げる子供が多く商品がなくなりそうだったとか。型が抜けたと思ったら「あー、ひびが入って割れてしもたー」という子や、輪投げでは近くのを狙って確実に景品を手に入れる子もいて、それぞれが年齢に応じて楽しんでいました。



『味自慢の夜店』は「まだか！まだか！」の雰囲気、4時半過ぎの時点で急遽、久保実行委員長から「屋台開店時刻を早めます！」のアナウンス。皆いっせいに屋台へ。暑かったので「カキ氷3回も食べた」という声。本能学区なので「信長そうめん」と銘打った本もの志向の素麺

朝から、学区のスタッフと立命館大学・府立大学の学生さんによる櫓やステージの組み立てが始まり、午後には各パートごとに屋台やゲームの準備で大忙しでした。参加者もスタッフもひとつになって盛り上がった「本能学区」ならではの夏まつりであったのでは？暑中、熱中症で倒れる方もなく、無事に夏まつりを終えることができました。皆様ありがとうございました。(あ)

## 夏まつりに思う

本能自治連合会会長 平野雅左夫

今年の夏は燃えるような暑い日々。日本列島に40℃を超える所多々あり、我が本能まつりも8月18日の熱中症の心配される中でしたが、大変な盛り上がりの内に、多数の区民の参加を得ることができました。

久保実行委員長を中心に、日頃地域活動されているボランティアの人々、まちづくりの学生さん・中学生の20余名の活動に、またあの真剣な眼差しに、私も少々たじろぐ程感動を受けました。高齢者の頑張りもあり、素晴らしい夏まつりになったと思います。

最後になりましたが、マンションに住まいのX氏から、お菓子代として多額の御祝金を賜りましたこと、この文面をお借りして御礼申し上げます。夏まつりを無事終了できましたことを喜んでおります。

も登場。また夏まつりらしいカレー・たこ焼き・焼きとうもろこし等も人気でした。

『学区のお店』は、お野菜の加ね繁さん・クッキーの双月堂さん・和菓子の米満さん・共同作業所のソルト売店さんらの出店で、普段とは違う雰囲気での買い物ことができました。

『お楽しみ抽選』は今年も空クジなしの抽選会です。当たりが出ると「〇〇町 〇〇様」と札が貼られて「いやー、〇〇さん当たってはったわ〜」と地元ならではの感想が聞こえてきました。当たった人の一番多い「5等



エコバック」、皆さんお買い物に大いに利用してください！抽選会場にお越しいただいた方は420名(一戸建ての方・マンションの方、ほぼ同数)で、「本能夏まつり」は地域住民交流の場の一つとなっているでしょう。

『盆踊り』午後7時、櫓の太鼓が響きわたり、盆踊りが始まりました。炭坑節・マイムマイムから江州音頭まで順に流れ、お約束？のマツケンサンバと松ケンさん？の姿も……。学生さんは「これ学校の体育で習ったなー」と言いつつ踊り、小学生は「高倉祭りで踊った曲やー」と踊り、参加者皆が楽しめて、踊りの輪が途切れることはありませんでした。9時になって最後の曲は太鼓を打ってくださった小林さんの声掛けで「マイムマイム」をグラウンドにいた皆で総踊り。年々ヒートアップしていく盆踊りです。



## ひとこと

◎炎天下の発掘作業。水分補給と休憩が必要な過酷な作業です。が、見物していると時間を忘れます。(N村)

◎酷暑続きのこの夏、皆さんの「暑気払い」は？私は「信長そうめん茹で」です。(ゆ)

◎「各町内ごとの地藏盆」と「本能学区の夏まつり」、地域の行事がホットな夏です。普段とは違う地域のよさを再確認しますね。(あ)

本能まちづくりニュース40号編集:

本能まちづくり委員会広報部